

加我 友寛さん

Tomohiro Kaga (横河原)

医学部生でありながら 消防団員として活動



キラリ東温この人なう No.126

地域で輝く人にインタビュー

愛媛大学医学部6年生の加我友寛さん(34)は、医師を目指して勉学に励む傍ら、横河原の消防団の基本団員として活動している。元々は看護師として働いていたが、患者さんが最期の時を自宅で過ごせるよう、医師として訪問診療に携わりたいと考えるようになり、29歳の頃、愛媛大学医学部に編入。その年、消防団女性部に所属する医学部生から勧められたことや、幼い頃「消防士になりたい」という夢を抱いていたことから、自ら消防団への入団を志願した。しかし、勉学と消防団活動の両立は容易ではない。「試験当日の夜中1時に火災が発生し、4時頃まで消火活動に当たって、その後また勉強して試験に望んだこともありました。その時は『自分が試験に受かるかどうかよりも、今は火を消すのが第一だ』と思って現場に向かっていた」と振り返る。

「卒業後も、就職先の地域の消防団に入団し、地域の一員として活動できればと思っています」と話す加我さん。医療と消防という二つの分野から、尊い命を守り続けていく。

編集後記

新緑に魅せられ、気持ち良く過ごせる5月が終わり、梅雨の季節が到来します。四季折々にさまざまな表情を見せる東温市をスケッチしていきます。(相澤)

30代の知人が最近心不全で亡くなったため、今回のPICK UPには思い入れがあります。心不全の予防や検査に一歩踏み出すきっかけになると嬉しいです。(戒能)

5月は新緑が綺麗で、各取材先でいい写真がたくさん撮れました。これから夏の景色を撮るのも楽しみです。(石田)

目次 Contents

02_PICK UP 心臓のSOS見逃さないで
／04_PICK UP 山之内のこいのぼり／
06_スイッチとうおん／10_子育てガイド／12_ふれあい広場／16_情報BOX／
22_暮らしと健康のカレンダー／24_キラリ東温この人なう